

目指せ冬春トマト農家

県就農支援センター 4人入所

冬春トマトの栽培技術や
農業経営を学ぶ県就農支援
センター(海津市海津町平
原)の入所式が13日、現地

であり、第13期生4人が次
世代の担い手として一歩を
踏み出した。来年6月まで
の14カ月間、栽培が盛んな



入所式を終え、決意を記した色紙を手にする
(左から)河村将聖さん、中野一磨さん、浅野な
おさん、片山朗さん＝海津市海津町平原、県就
農支援センター

市内で研修を受ける。
同市の河村将聖さん(23)
は修了後、市内で家業を継
ぐ予定という。岐阜市の中
野一磨さん(31)と浅野な
おさん(31)は、共同経営で海
津市内での就農を目指す。
岐阜市の片山朗さん(43)
は、全国農業協同組合連合
会県本部(JA全農岐阜)

の職員として、生産部門の
ノウハウを学ぶ。
式では、それぞれ決意を
記した色紙を手し「海津市
の農業産地を守り、トマト
の味や品質を将来にわたっ
て届け続ける」「地域の生
産者の一員として貢献す
る」などと抱負を語った。
来賓として出席した森正弘
県議や先輩の研修生が激励
の言葉を贈った。
センターは2014年に
開所し、農家の高齢化や後
継者不足の課題解消に向け
て担い手を養成。これまで
33人が修了し、30人が県内
を中心に就農した。
(浜田悠)